

平成29年7月24日

金属産業新聞(3面)に掲載されました

タイ大学のインターン支援

日東精工 学生受入れで国際交流

日東精工(株)(京都府綾部市、材木正己社長)は、工科大学トンプリ校(以下、KMUTT)と京都



日東精工に訪問したKMUTTの学生ら

下、KMUTT)と京都工芸繊維大学、綾部工業団地振興センター間で締結された海外インターンシップ協定に基づき、綾部工業団地に拠点を持つ企業として、海外インターンシップの受け入れを全面支援していく。

6月1日にKMUTTのKnowledge Exchange for Innovation Center(以下、KX)にて、キングモックト工科大学と京都工芸繊維大学、綾部工業団地振興センター(諏訪吉昭理事長)の三者が協力関係について確認し、綾部市山崎善也市長の立会いのもと、海外インターンシップ協定の調印式が行われた。同社は産学連携と海外展開に注力しており、「絆経営」を背景に海外の学生を現地法人に受け入れる体制作りも視野に入れている。

KXは昨年完成したKMUTTの施設の一つ。施設は、タイのみならず、日本、ヨーロッパなど多国籍の企業がオフィスを設け、企業と学生の共同研究やプロジェクトを行っている。また学生や卒業生が設立した会社の事務所も入っている。海外インターンシップ協定の調印日

には材木社長がKXを訪問し、学生起業家らと交流した。

今回の協定に基づき、6月13日にKMUTTの学生16名が日東精工を訪問した。技術者からの解説や現場を見学するなどして安全を経営の基礎とする管理体制を学んだ。同社は、今後も海外インターンシップ協定をサポートし、将来社会人となる学生を支援していく。



KXにて(左から)KMUTTの学生と京都工芸繊維大学の古山学長、日東精工の材木社長、山崎善也綾部市長